

質問No	資料名・ページ番号	質問内容	回答
1	実施要項P1 2 業務の概要 (3)履行期間	試験運用期間(令和7年1月1日から同年3月31日まで)にかかる費用は運用保守費に含むのか。	含む。
2	仕様書P3 7.システムの稼働環境に係る要件 (2) 自庁設置方式(オンプレミス)に係る要件	貴市管理の仮想基盤上でサーバOS(WindowsOS, Linux 等)やWindows CAL ライセンスの提供は可能か。	可能。
3	仕様書P3 7.システムの稼働環境に係る要件 (2) 自庁設置方式(オンプレミス)に係る要件	仮想サーバの割当可能なリソースはどの程度か。	CPU:12コア以内 メモリ:72GB以内 ディスク領域:5TB以内
4	(様式第8号)機能要件確認書No.30	「市が全庁的に用いている起案等の様式」は、どのような様式で、どのようなデータが印字されるのか。	本告示ページに起案様式の例を掲載しているので参照されたい。 (7 質問書(様式第1号)に対する回答(5月13日更新)の添付ファイルとして)
5	(様式第8号)機能要件確認書No.30	現仮想基盤で、データベースソフトウェアとしてOracle Databaseを利用することは可能か。	可能。(物理サーバ11台・各2CPU)
6	(様式第8号)機能要件確認書No.30	データベースにOracleを利用する場合、ライセンスはベンダー側で用意が必要か。	必要。
7	(様式第8号)機能要件確認書No.30	以下について、現仮想基盤で利用可能な機能の有無 ①OS払い出し機能(利用可能なOS) ②負荷分散機能 ③ウイルス対策ソフト ④バックアップ機能 ⑤監視機能 ⑥通報機能	①有(WindowsServer2022Standard) ②無 ③有(カスペルスキー) ④有(仮想基盤一括バックアップ) ⑤無 ⑥有(メール通報)
8	(様式第8号)機能要件確認書No.30	現仮想基盤にリモートで構築・保守を行う場合、設定作業と費用はどういったものが想定されるか。	リモートによる構築は想定していない。 リモートによる保守の実施は協議を要するが、サーバーがLGWAN系であればVPNワイドの拠点の追加作業と、VPNの費用とネットワークの設定変更費用が想定される。
9	(様式第8号)機能要件確認書No.30	現仮想基盤に以下のサーバ構築(リソース払い出し)は可能か。 ●サーバ(合計5台) ①CPU(2コア×4、4コア×1) ②メモリ(16GB×4、8GB×1) ③ディスク(合計5800GB)	①可 ②可(ホスト障害時は縮退運転) ③不可(5TB以内で想定)
10	(様式第8号)機能要件確認書No.99	「iOSやandroid等のOSのタブレット端末において利用可能」とは、電子決裁の承認や添付ファイルの表示だけでなく、帳票の印刷も含むのか。	帳票の印刷までは想定していない。電子決裁の承認などの、端末・システム内で完結する機能が利用可能であるという認識。